

⑥命令者にならねばならぬ。

A、このむと好まざるとにかかわらず、我々は神の座につかざるを得なくなっている。だが人類がいまだに長い虫、蛇に恐れを抱くよう、いまだに人々は神を恐れている。原始的宗教の神々を始め、スターリン、マルクス、リンカンなどなど。

B.そのためには条件反射的習性となっている風俗、習慣、それ等の集大成である憲法をはじめ、法律さらに、それ等を守らせる警察を物理的にも、心理的にも反対以上に破壊しなくてはならない。破壊する以上、こちらに破壊する情熱の源になる思想が必要だ。その思想—新しい神は「ナニカ」

C. 残念ながら「ナニカ」を希望しているにもかかわらず、「ナニカ」は、いっこうに御神体を現わさず、別言すれば、「ナニカ」を待つ時代と呼べないこともなさそうだ。それへのオーミングアップ的に、絶望の暗いロマンが冷たい光りを放っているのが、現在の地点なんだろう。

D.というわけではないが、不必要なまでにも、無関心以上に、作為的に陽気なそぶり、我々は神にならなければならない。それが御神体と思った瞬間「鯛の頭」は、光明の光りを暗黒の全世界に照らす。勿論「ピン」「キリ」でも、御神体になれる結構な御時世なのだ。